

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さくら一む湯川		
○保護者評価実施期間	R6年 9月 15日		～ R6年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	R6年 9月 1日		～ R6年 9月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R6年 12月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	さくら一むの活動を外部の方へ向けた発信や交流	現在、児童発達支援児童の通所はありませんが、夏祭りや発表会のイベント時には外部の方や関係機関の方などを招きさくら一む療育内容を目にさせていただく機会を設けています。	季節ごとのイベント活動等、利用児童が参加しつつ外部の方も、さくら一むの活動を知っていただく機会を設けていく
2	療育内容が固定化されたりマンネリ化しないように、様々な療育活動を取り入れている。	その日來所される児童の支援計画に沿った活動を行わせていただいておりますが、似た活動の中でも、ねらいや意識の部分を変えることで活動内でメリハリをつけた療育を行っています。その他も施設見学などの課外活動を交えることで楽しんで学んでいただく機会を設けております。	様々な活動を提供させていただいておりますが、「体験ができる行事も、もう少し増やしていただければ」とのお声もあり、体験をとしてその児童毎のスキルを伸ばしたり、良い経験を積む活動を今後も充実させていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練などの防災に関する訓練の周知	定期的に事業所内などで防災に関する訓練、学習などを行っておりますが、どのような内容で行い体験したのかの部分をご家庭に向けてもっとお伝えしていく必要があると考えられます。	定期的な訓練などの後にはご家庭向けのお便りの配布や、SNSでは内容を発信するなどを行う事で、今後も安心して通所できる施設であることを伝えていきます。
2			
3			